問教育政策室 ☎724・6762 FAX724・6010

子どもたちの“意欲・関心”を高めるチャンス！

親子で楽しく夏休みを過ごそう！

私たち大人が、子どもの頃に経験したことでも、今の子どもは「やったことがない」というケースが増えています。特に自然体験は、学年が低くなるほど、経験の数が少なくなるということが、国の調査で分かっています。さらに、この調査によると、子どもの頃に経験した自然体験が多いほど、物事に対する意欲・関心（「もっと深く学びたい」「最後までやり遂げたい」など）が高くなるという結果も出ています。

また、昨年12月の「ステップアップ調査」の結果をもとに分析を行ったところ、意欲的に取り組んでいることがある子どもほど、学力が高いということが分かりました。

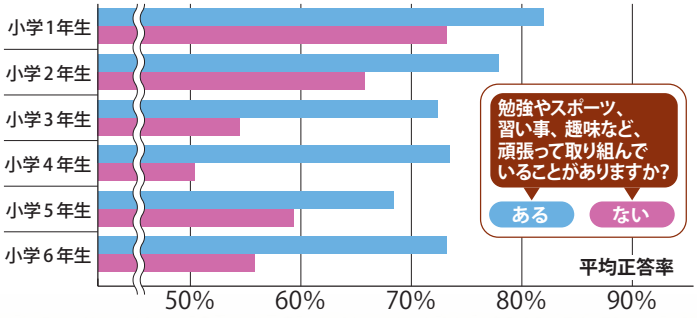
夏休み期間中は、親子で一緒に過ごす時間が増える絶好の機会です。次の項目の中で、あなたのお子さんができること、経験したことは、いくつありますか？ぜひ、親子で楽しく夏休みを過ごして、多くのことを体験してください！

■「子どもの頃の自然体験」と「物事に対する意欲・関心」との関係

子どもの頃の自然体験が	物事に対する意欲・関心が 高い	ふつう	低い
多い	40.0%	42.8%	17.2%
少ない	18.3%	41.0%	40.7%

※独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」より。

■意欲的に取り組んでいることの「ある」「なし」と、学力の関係



お子さんが、できること、経験したことは、いくつありますか？

- ☐ マッチで火をつけることができますか？
- ☐ 缶切りで缶詰を開けることができますか？
- ☐ 包丁で野菜を切ることができますか？
- ☐ かなづちで杭を打つことができますか？
- ☐ 海や川で泳ぐことができますか？
- ☐ 昆虫を捕まえることができますか？
- ☐ 魚を間近で見たり、触ったことがありますか？
- ☐ 花のにおいをかいだことがありますか？
- ☐ 満天の星を見たことがありますか？
- ☐ 日の出や日の入りを見たことがありますか？

上記のようなことが、できるようになったり、経験したりすることで、子どもたちの物事に対する意欲・関心が高まり、さらに学力の向上にもつながります。

夏休みは、全ての項目を「できる！」「ある！」にできるベストチャンス！

おすすめの2つの過ごし方を紹介します！

おすすめの過ごし方 ①親子でキャンプに行こう！

キャンプは、さまざまな体験が一度にできる絶好の過ごし方です！親子で力を合わせてテントを張って、海や川で泳いだり、植物観察をしたり。食事を作るときの火起こしでは、マッチで火をつける役や、うちわで風を送る役を、ぜひお子さんに与えてください。マッチの持ち方や擦り方、ものの燃え方と空気の関係など、多くのことを学べます。

また、缶切りで缶詰を開ける、包丁で野菜を切るということも、お子さんと一緒にしてください。缶切りや包丁の使い方だけでなく、てこの原理などについて自然と知ることができます。みんなで夕食の後片付けをしたあとは、満天の星を眺めたり、1日の感想を話し合ったり。頑張って早起きして、日の出を見るのもおすすめです。どの場面も、子どもの意欲・関心を育みます。

おすすめの過ごし方 ②親子で自然の生き物を採集しよう！

夏になると、さまざまな生き物の活動が盛んになります。ぜひ親子で、山や森に出かけて昆虫を捕まえたり、海や川に出かけて魚釣りをしてください。

日当たりのいい草地で暮らすバッタやチョウ、石や落ち葉の下でひっそりと暮らすダンゴムシ、夜になると活動を始めるカブトムシなど、何がいつ、どんな場所にいるのかを調べ、探し、採集することで、知ることや分かることがたくさんあります。また、私たちがいつも食べているコーンや魚肉ソーセージなどで、魚が釣れる驚きや楽しさは、経験しないと分かりません。

夏休みの自由研究を兼ねて、採集した昆虫や魚を飼育して、観察日記をつけるのもおすすめです。

子どもたちの“意欲・関心”を高めるために、ぜひ親子で、上記の過ごし方を実践して、充実した夏休みを過ごしてください！